



城のまち区長  
 会長  
 中屋 俊人

令和6年度城のまち地区区長会会長をお受けすることになりました朝陽(あさひ)目区長、中屋俊人です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

このたびの「令和6年能登半島地震」によって被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

さて3月に北陸新幹線福井敦賀開業に合わせて「ふくい桜マラソン2024」が開催されます。丸岡城をシンボルとした城のまちからも、明るいニュースを発信できよう、ランナーをおもてなしの心でお迎えし、福井の魅力をより多くのの人々にお届けできるよう大会を盛り上げるために、スタッフ一同協力していきたいと思ひます。城のまちは「人と人とのつながり」が強く、それが強みであるまちです。「未来へつなぐ幸福」今こそ、皆様と一緒に北陸を元気にしましょう。

最後になりましたが、城のまち区長会の皆様と共に年間精一杯務めさせて頂きます。どうぞご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

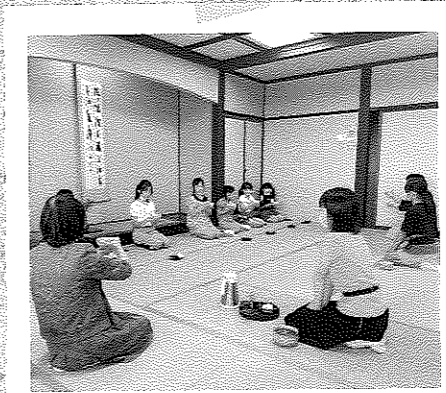


日本最古のお城  
 重要文化財  
 選』  
 名『霞ヶ城』

お知らせ掲示板

まちづくり協議会・寺子屋部会  
**展示作品募集 無料**  
 しるまつかふえの一角に登場した「みんなのギャラリー」では地域の皆さんの作品展示のスペースとして貸出しています。たくさんの方に観てもらいたい、気軽に展示したい。そんな方におすすぬ！お気軽にお問い合わせてください。

- 展示期間 2週間
- 使用料 不要
- お問い合せ 丸岡城のまちコミュニティセンター Tel.66-1276

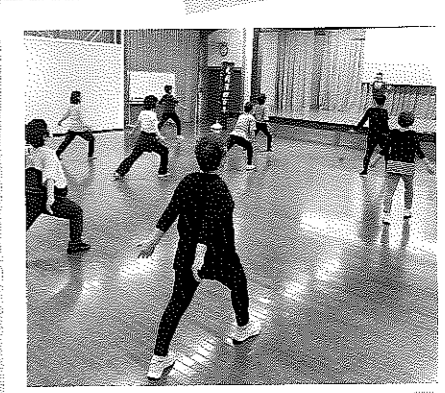


子ども茶道教室 (8回)

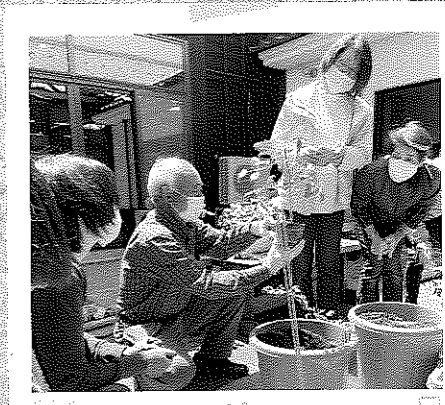


子ども生け花教室 (8回)

放課後子ども教室



やってみようピクス! (14回)



プランターde野菜づくり (3回)

コミセン講座

まちづくり協議会さくら部会  
**寄せ植え教室**



- 卒業、ご卒園 おめでとございます 新しい門出を心よりお祝い申し上げます 平章小写真スペース
- 平章小学校 6年生 令和6年3月5日(火)
- 緑幼稚園 令和6年3月14日(木)
- 雷幼保育園 令和6年3月18日(月)
- しるの子保育園 令和6年3月21日(木)

編集後記

住民アンケートの結果から、城のまち地区を良くしていくための6つのプロジェクトが立ち上がり、城のまちコミセンさくらホールに展示しています。

ひかりかがやく城のまちの未来のために、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。(FALCON)

今年5月の能登半島M6.5最大震度6強の地震の直後に政府の地震調査委員会が「付近の海底には活断層があり、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要があります」と発表し、昨秋には城のまちコミセンで避難所の開設・運用訓練を行っていたところでした。

今回、城のまち地区は幸いにも大きな被害がありませんでしたが、訓練の重要性を再確認しました。(T.M.)

織田信長、徳川家康、本多忠勝、三人の血を引いた姫君と丸岡の縁

竹吉 睦

城のまちまちづくり協議会城丸部会

昨年十月、千葉県在住の有馬康陽(やすはる)さんが、有馬家二十八代目のご当主を継がれました。有馬家は、平安時代、紫式部が登場する五十年ほど前瀬戸内海で兵を挙げた藤原純友の末裔とされています(藤原有馬世譜)。

キリシタン大名として知られる有馬晴信は十四代、延岡から糸魚川を経て丸岡へ入封した清純は十七代に当たります。戦国の動乱を切り抜け、朱印船貿易で繁栄をむたらした晴信。清純が丸岡藩を継いだのちも、霊社を設けて晴信を祀り、祭りが続けられました。今でも、國神社に合祀された青信霊社の祭礼が毎年八月に行われています。

有馬晴信の長男である十五代直純は、隠居した徳川家康の小姓として仕え、駿府城内で、家康の養女國姫と婚約を挙げました。國姫の母熊姫(ゆうひめ)は松平信康の孫、父忠政は本多忠勝の長男にあたります。母方の祖母徳姫は織田信長の娘ですから、國姫には、母方の祖母徳姫、本多忠勝という戦国時代を代表する武将たちの血が流れていることになりました。祖父である松平信康に容貌が似た國姫を、家康が溺愛したことが「國衆遺聞」に記されています。

「ひ孫ゆえ、かつ祖父信康君の容貌彷彿(ほうふつ)たるをもって、(家康)の御慈愛とくに深く、駿府城において養育。四方石をもって直純公を肥前有馬に封じ、慶長十九年、一万三千石加増し、直純を日向延岡へ。國姫はこれより日向御前(ひゅうがごせん)と称す。男児産まれ、四歳のとき日向夫人に付き添われ神祖家康に御目見え、神祖喜ひ康の一字を与える。家康公吊問の翌年、秀忠公はご夫婦(直純と國姫)を江戸の屋敷に三年留め、夫婦帰藩のとき康純君を江戸に残す。

夫人の人となりや、剛毅にして技撃に達し容貌壯麗にして胸毛あり。起居動静まさに大丈夫のごとく。

岡本大八事件で罪を得た晴信が処罰され、通常なら改易お取潰し)になるところを、直純が四万石で本領安堵。さらに、一万三千石の加増で日向国延岡に移封。清純のとき、延岡で起きた山陰(やまかげ)一揆で糸魚川へ国替えとなるも、三年後には、城のある丸岡へ移り、外様から譜代大名に格上げ。

これら、幕府から有馬家への特別ともいえる待遇の背景には、國姫の存在があったのではないかと確信しています。